

令和2年6月  
県議会予算委員会

去る7月6日県議会予算委員会で、おざわ良央は最大の政治課題“コロナ禍”対策について、中小企業や小規模事業者への支援強化に的を絞り、知事や県当局に質問しました。(要約)

# 県内経済の回復へ向けて

よしなか

## 神奈川県議会議員 おざわ良央



### ① 事業者の資金繰り支援について

**おざわ** 4月補正に上乗せして今回、利子補給11億5千万円を計上。コロナ対応資金の融資限度額3千万円を4千万に引き上げるためというが。

**金融課長** 平均借入額は1件約2千万円。感染症の経済的影響が長期化する中で、重ねての借入れ希望増が予想され、同額の追加借入れが可能のように4千万に拡充、今後の安心につなげる。

### ③ 県内工業品購入促進事業費

**おざわ** 県内製造業の業績向上と地域経済回復に5億5千万円計上したが。

**産業振興課長** 県民が県内工場より生産出荷の10万円以上の製品購入の際のクーポン券発行を支援。購入価格が割引となる仕組み。

**おざわ** 例えば、私の地元の箱根の木工製品等も対象となるのか。

**産業振興課長** 製造業者からの応募により決定。具体的には車や家具等想定。箱根本製品についても、10万円以上で、特注品ではない物を想定している。

### ② 事業者の再起促進支援について

**おざわ** 4月補正で約10億円を計上、公募したが、今回更に10億上乗せは。

**中小企業支援課長** 公募途中で当初想定の数倍にも達した。また、パチンコ、マージャン、ナイトクラブ等の業種の大変な現況から、新たに補助金対象に加え、全ての申請案件に対応できるよう措置した。

### ④ 農業、畜産業、水産業への支援

**農政課長** 外出自粛で家庭消費が拡大し、野菜や魚などの販売に大きな影響はなかった。しかし高級な花や魚、牛肉は大幅に価格が低下し厳しい。

**おざわ** 地元の小田原漁港でも、ブリの価格が下落。水産業への支援策は。

**水産課長** 学校給食への無償提供や県産水産物の食育教材への提供、出前授業等を実施。「新しい生活様式」の中で、家庭内での消費拡大につなげたい。

### ⑤ 地元かながわ再発見推進事業

**おざわ** 6月19日から帰省や旅行など県域を越える移動自粛が解除、観光が解禁。補正予算の「地元かながわ再発見推進事業費」10億5千万円の用途は。

**観光企画課長** 想定旅行商品は、1人1泊5千円、日帰り1人3千円程度の割引を実施。規模16万件。幅広い事業者に効果が及ぶ仕組みとしたい。

**おざわ** 一方では引き続き感染拡大リスクがある。県民の安全安心に万全を期し、いかに観光振興を図るのか。

**観光企画課長** 旅行関係事業者に、県感染予防対策取組書への登録を要請。観光客には「新常態」に合った旅行マナーを紹介した県独自の印刷物を作成。県民の安全、安心を確保しつつ、県内観光地を積極的にPRしたい。

「商店街に対する支援」及び「ベンチャー企業支援」については省略。

### ⑥ 経済の再開と回復への取組み

**おざわ** 最後に県内経済の再開と回復に向け、どう経済のエンジンを回して行くのか、知事の考えをお聞きたい。

**知事** 大きなダメージを受けているので、県の回復施策をきめ細やかに強力で押し進め、これらを国の「GOTOキャンペーン」とも連動させる。製造業や飲食業、サービス業等の需要喚起策についても検討する。今後とも県内経済のエンジンをしっかりと回していきます。

**おざわ** ウィズコロナ時代、県内事業者が感染防止対策にしっかりと取り組む中で、県内経済が回復し、県民の皆様も安心して生活できるよう、知事はじめ県当局の一層の努力をお願いしたい。

また給付金等の迅速な対応に向け、更に申請書類の工夫改善や、司法書士、行政書士の活用等考慮していただくよう特に要望する。